

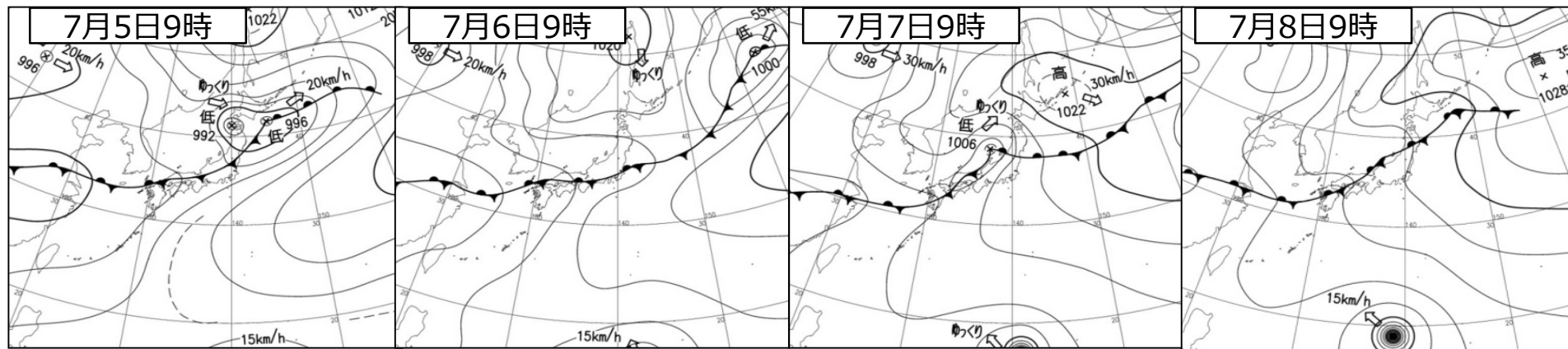
# 平成30年7月豪雨の概要

平成30年10月16日  
平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関する  
ワーキンググループ第一回

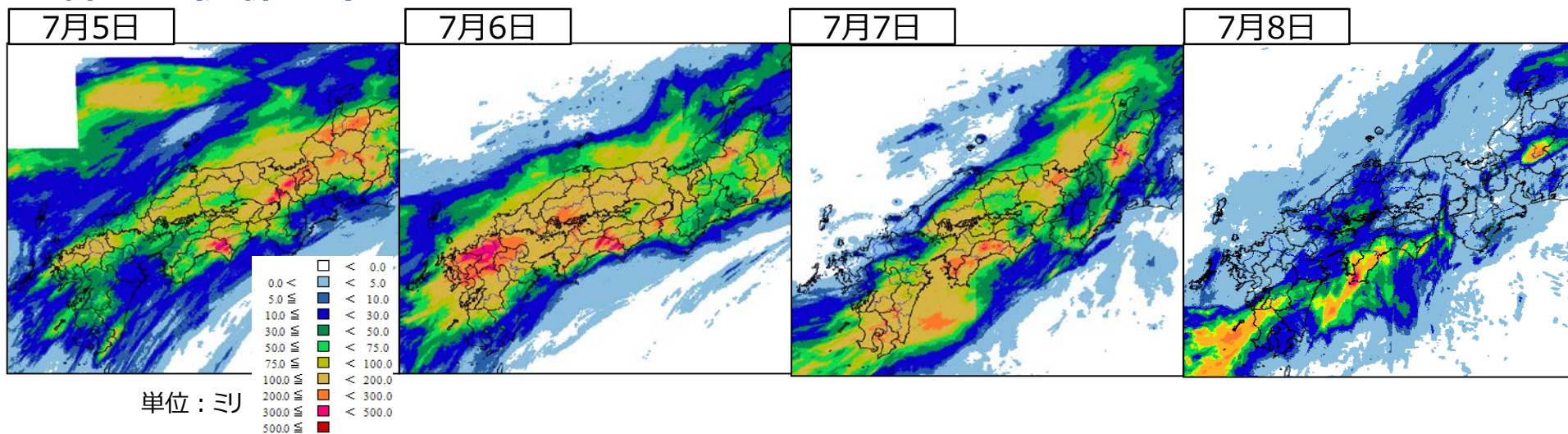
# 「平成30年7月豪雨」の気象概要

- 台風第7号から変わった温帯低気圧が、7月5日には本州付近に停滞していた梅雨前線と一体化した。
- 梅雨前線は、暖かく湿った空気が継続して流れ込んだ影響で、活動が非常に活発となった。  
この状態が、7月5日頃から8日頃まで続いたため、西日本から東海地方を中心に記録的な大雨となった。

## ■ 天気図

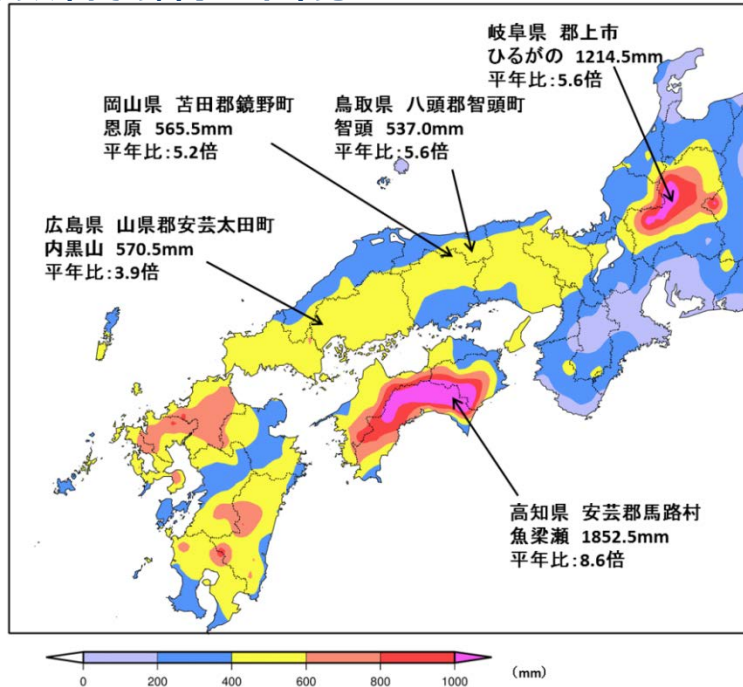


## ■ 日降水量（解析雨量）

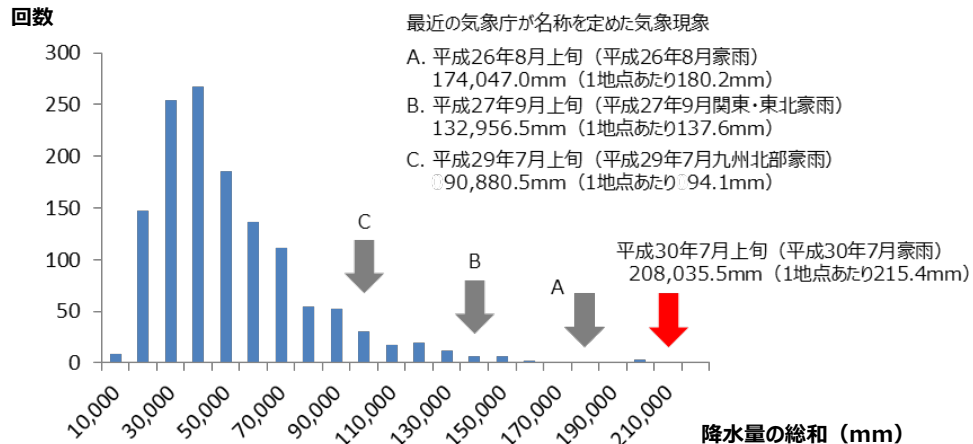


# 平成30年7月豪雨の雨量の状況

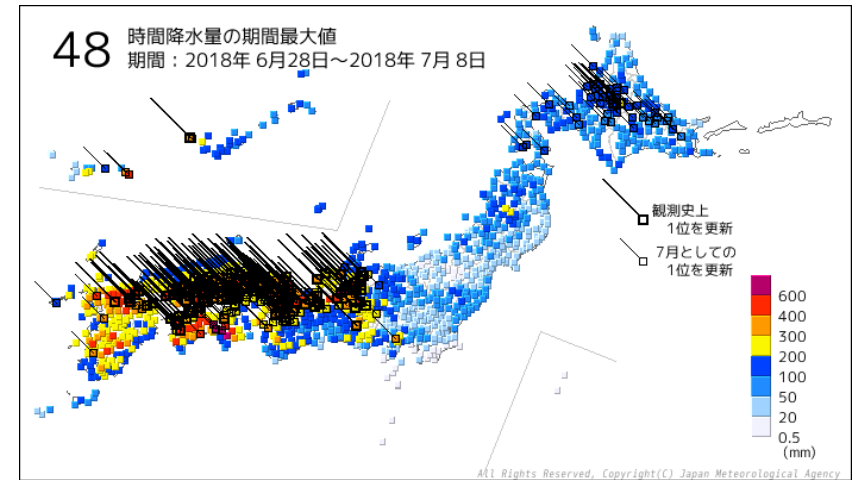
## ■ 6月28日から7月8日までの総降水量（アメダス）とその期間での降水量平年比



## ■ 全国のアメダス地点（比較可能な966地点）で観測された降水量の総和（1982年1月上旬から2018年7月上旬における各旬の値の度数分布）

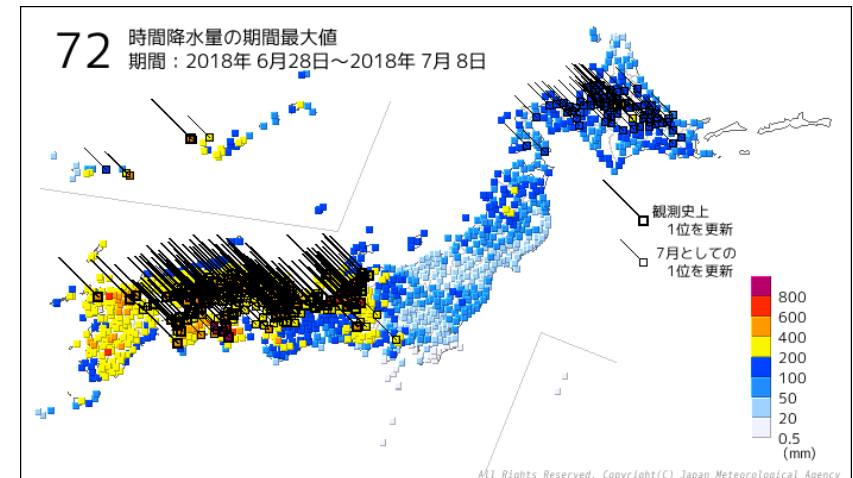


## ■ 6月28日から7月8日までに観測された最大48時間雨量（アメダス）



観測史上1位を更新した地点数：124地点  
7月としての1位を更新した地点数：239地点

## ■ 6月28日から7月8日までに観測された最大72時間雨量（アメダス）



観測史上1位を更新した地点数：122地点  
7月としての1位を更新した地点数：264地点



# 平成30年7月豪雨による被害状況

○前線や台風第7号の影響により、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、1府10県に特別警報が発表されるとともに、各地で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、1府13県で200名を超える死者・行方不明者が発生するなど甚大な被害が発生。

○電気、水道等のライフラインの被害のほか、道路、鉄道等の交通インフラにも甚大な被害が発生。

## 被害状況等<sup>※1</sup>

- ・**人的被害** (10/9時点)  
死者224名、行方不明者8名
- ・**家屋被害** (10/9時点)  
全壊6,695棟、床上浸水8,640棟
- ・**避難所避難者数**  
最大 約4.2万人 (7/7時点)  
⇒10/9時点で370人
- ・**電力**  
最大 約8万戸停電 (7/7時点)  
⇒7/13復旧<sup>※2</sup>
- ・**上水道**  
総断水戸数 263,593戸  
⇒岡山県内:7/26断水解消<sup>※3</sup>  
広島県内:8/9断水解消<sup>※3</sup>  
愛媛県内:8/13断水解消<sup>※3</sup>
- ・**鉄道**  
最大 32事業者115路線運転休止 (7/7 5:00時点)  
⇒10/9時点で4事業者6路線運休中
- ・**高速道路**  
最大 17路線19区間被災による通行止め (7/8 5:00時点)  
⇒9/27までに全ての通行止め解除



浸水被害  
(岡山県倉敷市真備町)



鉄道の被害  
(広島県東広島市 JR山陽線)



道路の被害  
(広島県安芸郡坂町 広島呉道路)



浄水場の被害  
(愛媛県宇和島市 吉田浄水場)

※1 平成30年7月豪雨による被害状況等について(内閣府)資料より作成

※2 住民が居住する地域

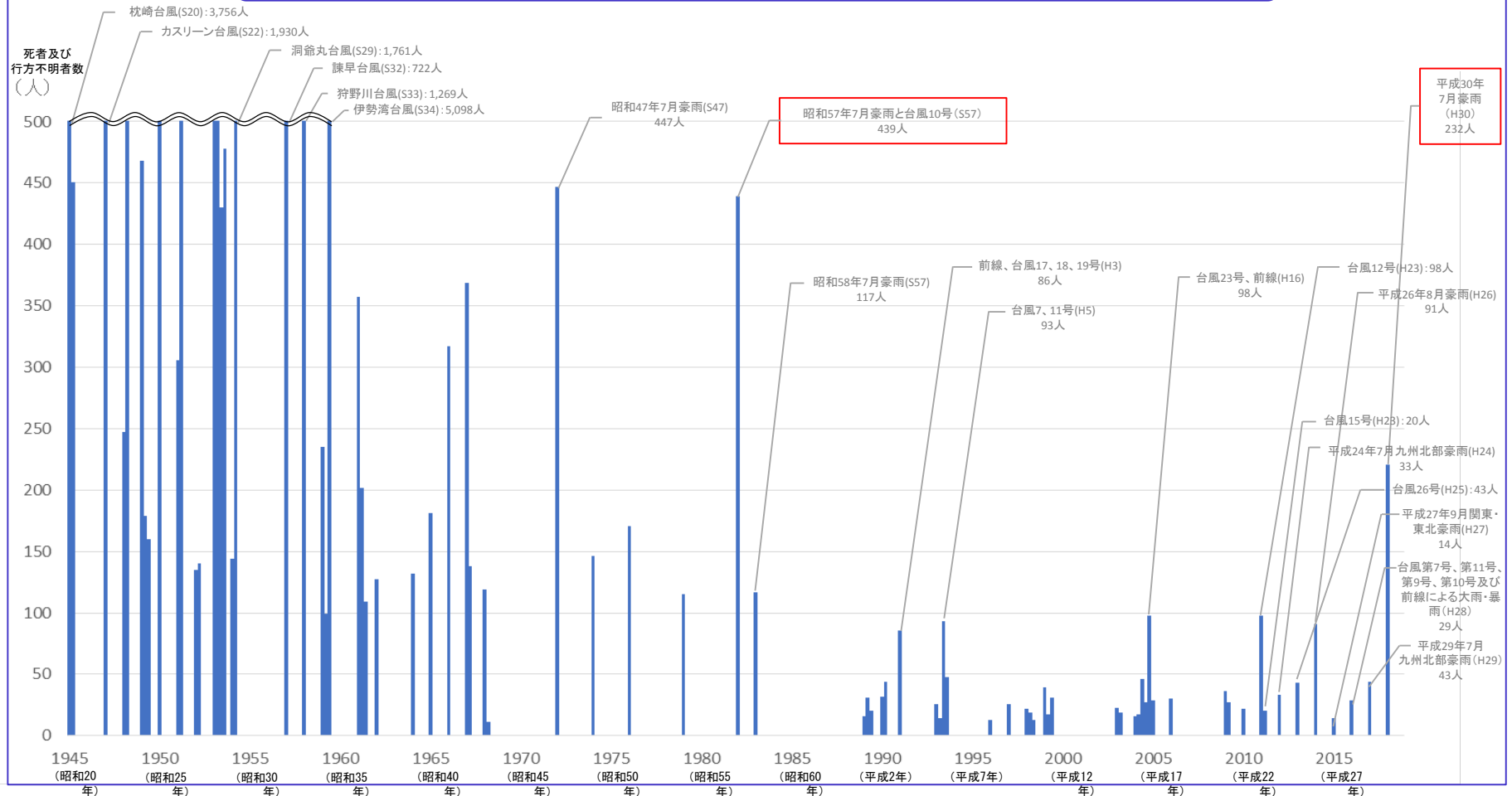
※3 豪雨により大きな被害が発生し、住民が避難している地域で、地域の復興に合わせて水道も復旧・整備する予定の地域(愛媛県松山市10戸、西予市32戸)を除く。



# 平成30年7月豪雨による被害の特徴

○平成30年7月豪雨は、近年、発生した水害・土砂災害としては、死者・行方不明者数が極めて多いことが特徴(一つの災害で死者・行方不明者が200人を超えたのは「昭和57年7月豪雨と台風10号」※以来となる。)

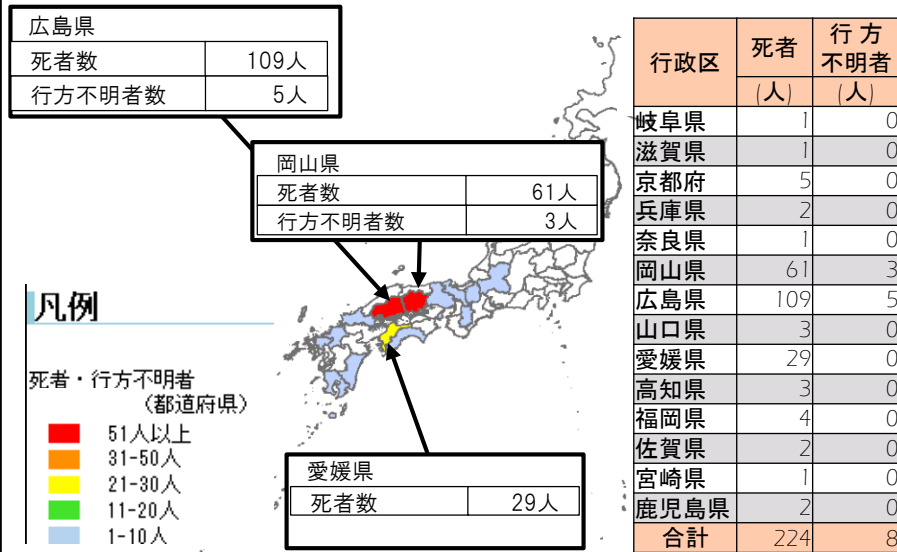
主な水害・土砂災害(死者及び行方不明者数)



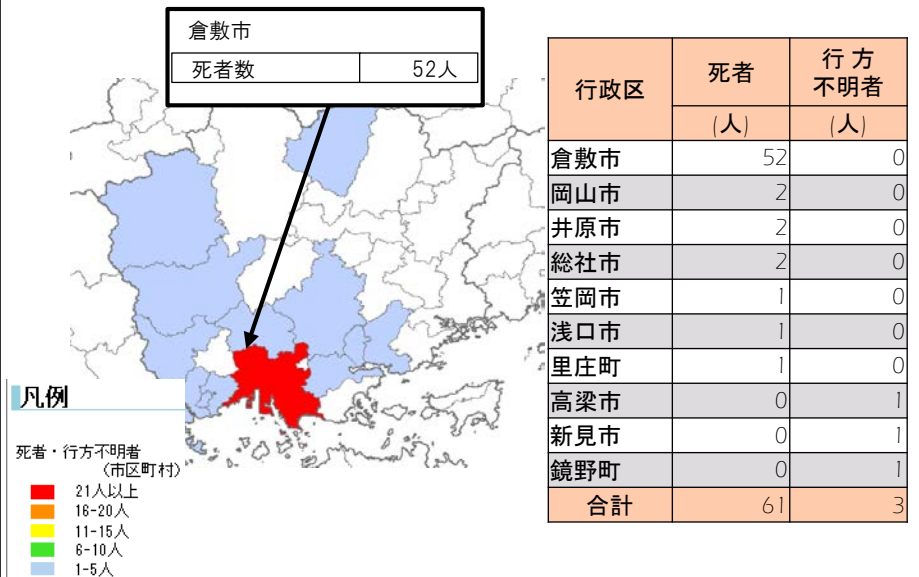
気象庁：災害をもたらした気象事例から、死者及び行方不明者数が10人以下のものと及び雪によるものを除いて作成  
 ※政府の非常災害対策本部は「昭和57年7月及び8月豪雨非常災害対策本部」として設置されており、昭和58年消防白書  
 において、被害状況は昭和57年7月豪雨と台風10号によるものを1つの災害として分けずに整理されている。

# 平成30年7月豪雨による人的被害の状況

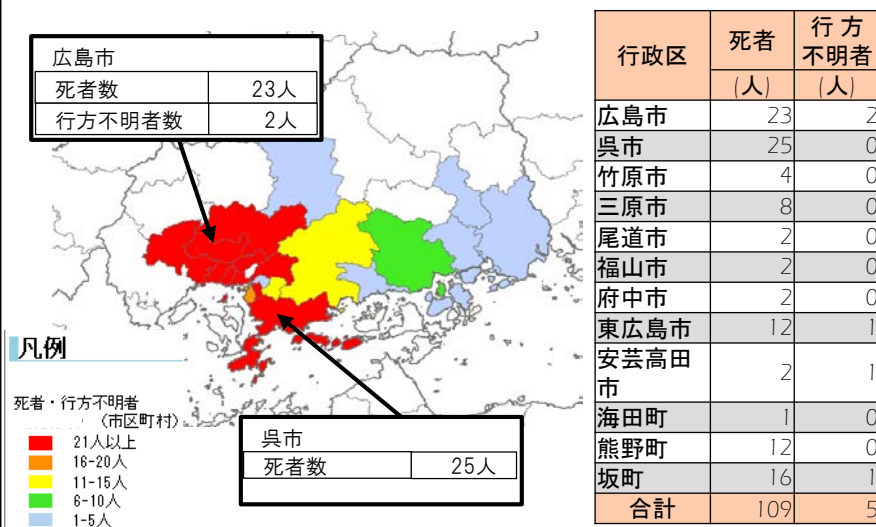
## 人的被害(死者・行方不明者)の状況【全国】



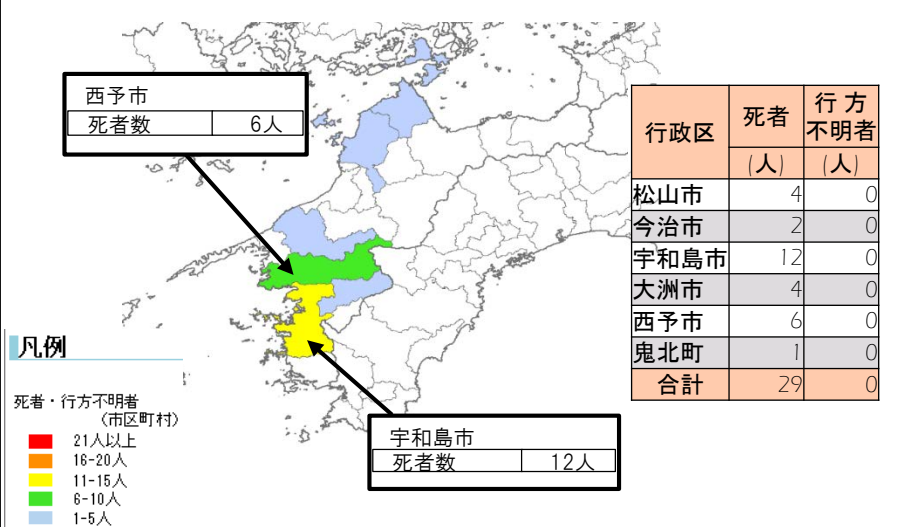
## 人的被害(死者・行方不明者)の状況【岡山県】



## 人的被害(死者・行方不明者)の状況【広島県】

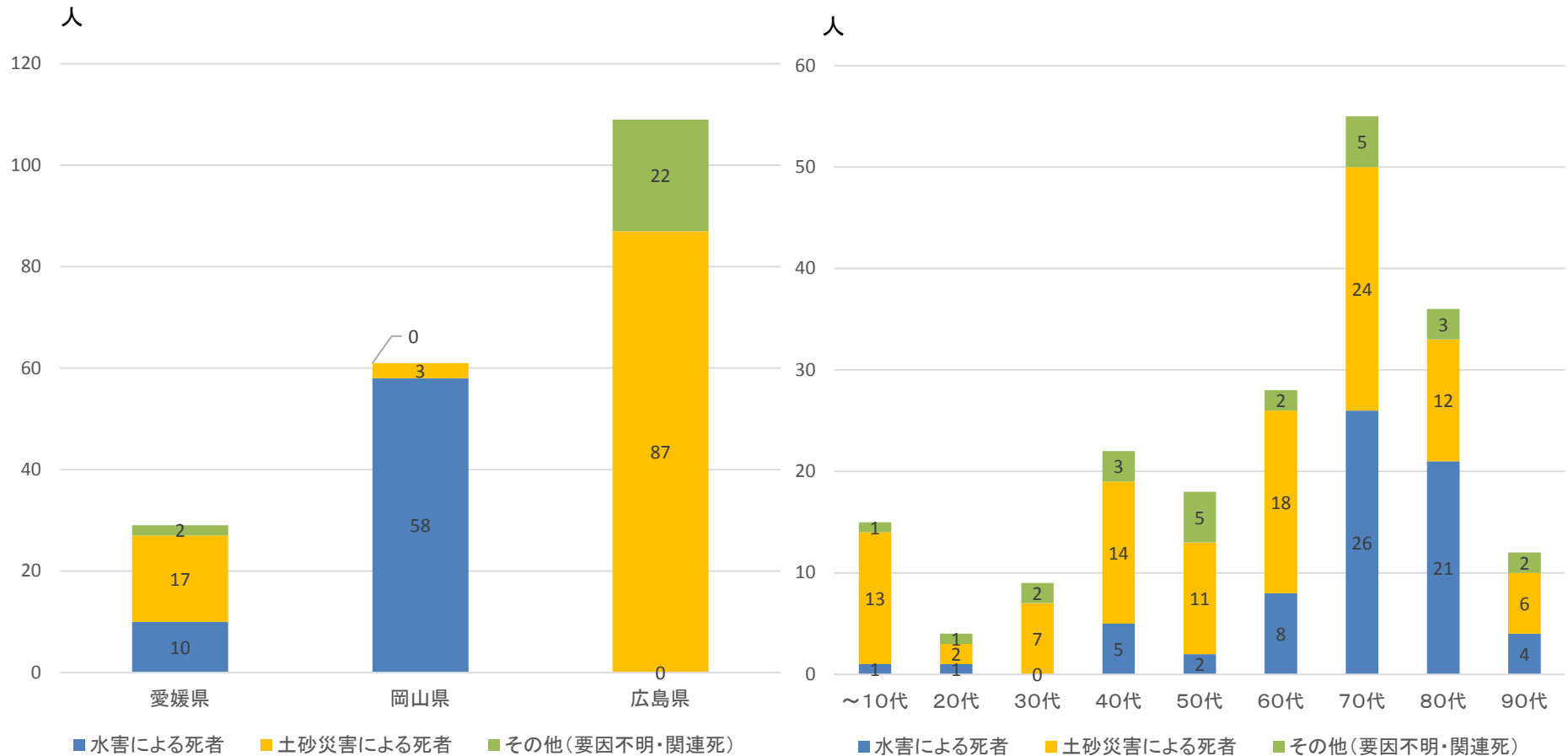


## 人的被害(死者・行方不明者)の状況【愛媛県】



# 平成30年7月豪雨による人的被害の特徴

- 被害の大きかった愛媛県、岡山県、広島県での原因別死者数をみると、広島県では土砂災害による死者数が、岡山県では水害による死者数の占める割合が多かった。
- 上記3県の死者数のうち、60代以上の割合が約7割であった。



3県の原因別死者数

3県の年齢別死者数



# 平成30年7月豪雨による堤防の決壊等の状況

- 国管理の高梁川水系小田川では2箇所で決壊。
- 都道府県管理河川では、豪雨となった広島県12箇所、岡山県10箇所など、35箇所で決壊。

## ●決壊箇所一覧

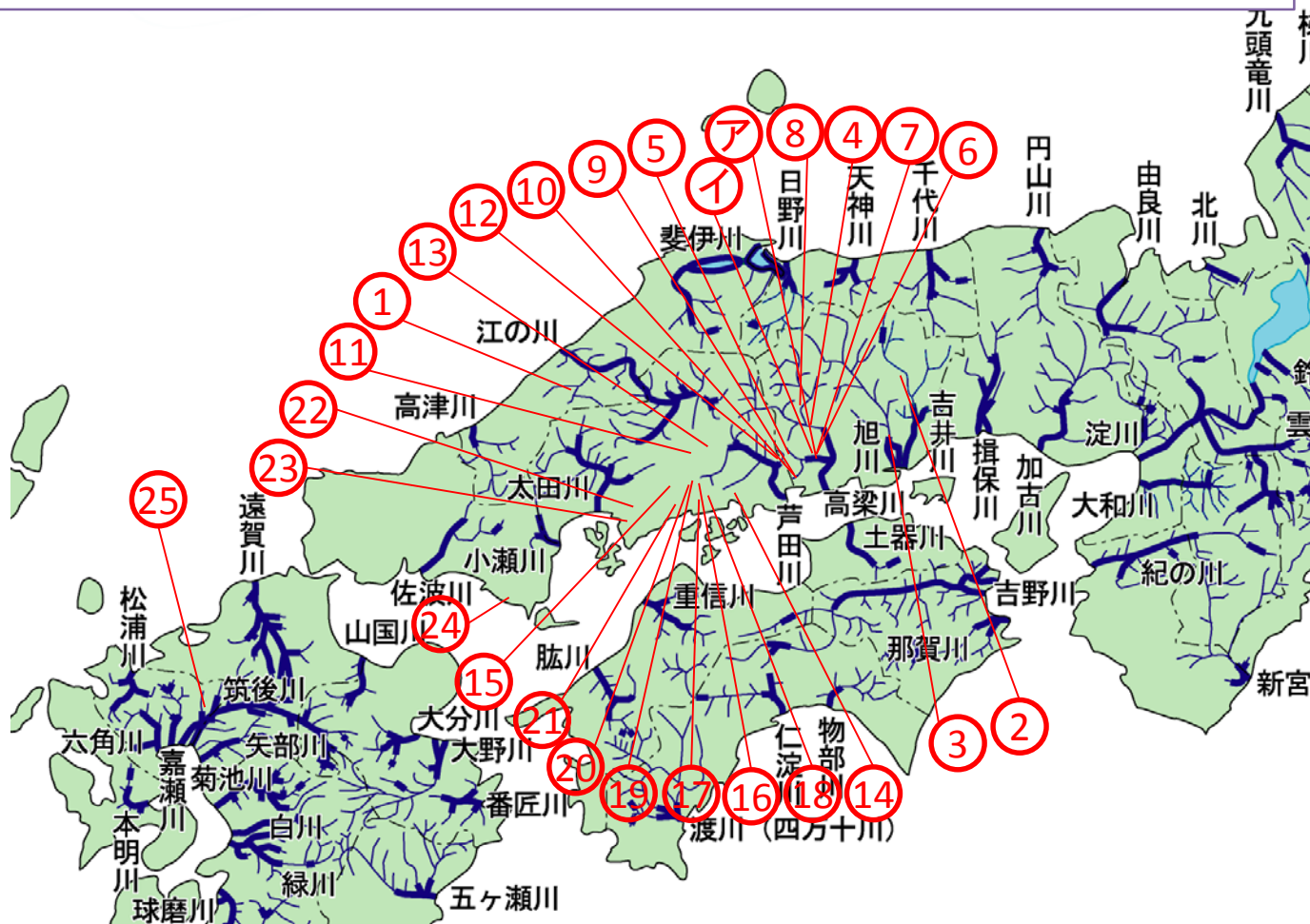
### 国管理河川(2箇所)

| No | 整備局 | 水系  | 河川       | 市町村       | 箇所数 |
|----|-----|-----|----------|-----------|-----|
| ア  | 中国  | 高梁川 | おひろ川 小田川 | くらしまし 倉敷市 | 1   |
| イ  | 中国  | 高梁川 | おひろ川 小田川 | くらしまし 倉敷市 | 1   |

### 都道府県管理河川(35箇所)

| No | 県  | 水 系           | 河 川             | 市町村             | 箇所数 |
|----|----|---------------|-----------------|-----------------|-----|
| 1  | 島根 | ごう かわ<br>江の川  | やと かわ<br>八戸川    | ごうつう<br>江津市     | 1   |
| 2  | 岡山 | あさひがわ<br>旭川   | あさひがわ<br>旭川     | おかやまし<br>岡山市    | 1   |
| 3  | 岡山 | あさひがわ<br>旭川   | すながわ<br>砂川      | おかやまし<br>岡山市    | 1   |
| 4  | 岡山 | たかはしがわ<br>高梁川 | たかはしがわ<br>高梁川   | そうじやし<br>総社市    | 2   |
| 5  | 岡山 | おたがわ<br>高梁川   | おたがわ<br>小田川     | やかけあし<br>矢掛町    | 3   |
| 6  | 岡山 | たかはしがわ<br>高梁川 | すえまがわ<br>末政川    | くらしまし<br>倉敷市    | 3   |
| 7  | 岡山 | たかはしがわ<br>高梁川 | くらしまし<br>高馬川    | くらしまし<br>倉敷市    | 2   |
| 8  | 岡山 | たかはしがわ<br>高梁川 | ま くにがわ<br>真谷川   | くらしまし<br>倉敷市    | 1   |
| 9  | 岡山 | たかはしがわ<br>高梁川 | いづはら<br>岩倉川     | いづはら し<br>井原市   | 1   |
| 10 | 岡山 | たかはしがわ<br>高梁川 | おさか<br>尾坂川      | かきふかし<br>笠岡市    | 1   |
| 11 | 岡山 | あんだ がわ<br>芦田川 | たかや がわ<br>高屋川   | いばらし<br>井原市     | 1   |
| 12 | 広島 | あんだ がわ<br>芦田川 | あんだ がわ<br>芦田川   | せろふよう<br>世羅町    | 1   |
| 13 | 広島 | あんだ がわ<br>芦田川 | よしの がわ<br>吉野川   | ふくやまし<br>福山市    | 1   |
| 14 | 広島 | ほんごうがわ<br>本郷川 | ほんごうがわ<br>本郷川   | ふくやまし<br>福山市    | 1   |
| 15 | 広島 | あした がわ<br>沼田川 | ひがしのがわ<br>入野川   | ひがしひろしま<br>東広島市 | 1   |
| 16 | 広島 | あした がわ<br>沼田川 | すげがわ<br>菅川      | みはらし<br>三原市     | 3   |
| 17 | 広島 | あした がわ<br>沼田川 | てんじんがわ<br>天井川   | みはらし<br>三原市     | 1   |
| 18 | 広島 | あした がわ<br>沼田川 | ふつうに がわ<br>仏通寺川 | みはらし<br>三原市     | 1   |
| 19 | 広島 | あした がわ<br>沼田川 | いしや がわ<br>梨和川   | みはらし<br>三原市     | 1   |
| 20 | 広島 | あした がわ<br>沼田川 | みつぎ がわ<br>三次川   | みはらし<br>三原市     | 1   |
| 21 | 広島 | かみがわ<br>賀茂川   | かきがわ<br>賀茂川     | たけはらし<br>竹原市    | 1   |
| 22 | 広島 | のう 呂川<br>野呂川  | なかはたがわ<br>中畑川   | くれし<br>呉市       | 3   |
| 23 | 広島 | くらま がわ<br>黒瀬川 | あさひがわ<br>笹野川    | あさひがわ<br>東広島市   | 1   |
| 24 | 山口 | しまた がわ<br>島田川 | しまた がわ<br>島田川   | しゅうなんし<br>周南市   | 1   |
| 25 | 福岡 | ちくご がわ<br>筑後川 | たちあらいがわ<br>大刀洗川 | たちあらいがわ<br>大刀洗町 | 1   |

計37箇所



H30.9.5 12:00時点



# 平成30年7月豪雨による土砂災害の発生状況

土砂災害発生件数  
(7月2日以降を集計)

(都道府県報告)

1道2府28県

2,512件※

土石流等： 769件

地すべり； 55件

がけ崩れ： 1,688件

【被害状況】

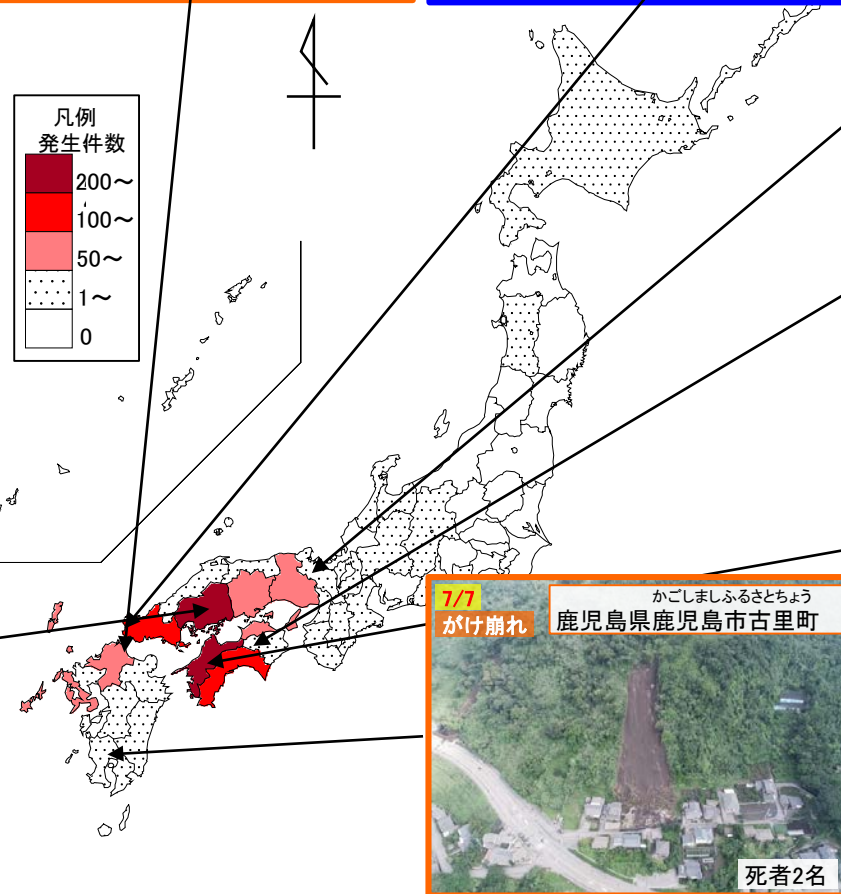
人的被害：死者 119名  
負傷者 29名  
人家被害：全壊 213戸  
半壊 340戸  
一部損壊 290戸

※被害状況等については精査中

(9月25日時点)

※1 近10年(H20～29)の平均土砂災害発生件数1,106件／年

※2 近10年(H20～29)の最大土砂災害発生件数1,514件／年<H29>





# 平成30年7月豪雨による治山関係の被害状況

- 発達した梅雨前線等が西日本を中心に記録的な大雨を降らせ、各地で甚大な被害が発生
- 治山関係被害(林地荒廃、治山施設)は、2,493箇所(1道2府31県:2018年10月9日現在)

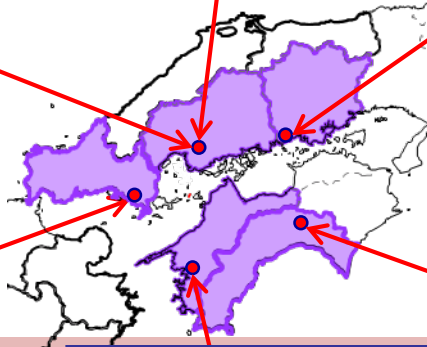


広島県  
林地荒廃 714か所  
治山施設 7か所



岡山県  
林地荒廃 120か所

山口県  
林地荒廃 79か所



愛媛県  
林地荒廃 249か所  
治山施設 2か所

高知県  
林地荒廃 129か所  
治山施設 6か所





# 平成30年7月豪雨によるため池に関する被害状況

## ため池決壊件数

(都道府県報告)  
2府4県  
**32件**

### 【被害状況】

人的被害：死者 1名  
負傷者 4名  
人家被害：全壊 1戸  
床下浸水 8戸

(10月9日時点)

被災状況 広島県 乙池・大池・横池(重ね池)



被災状況

写真① 大池



被災状況

写真② 横池



堤体決壊

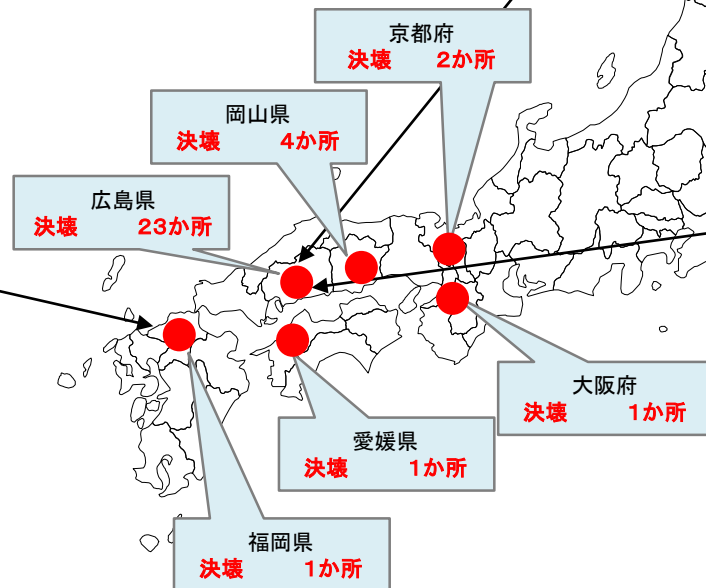


なかしま  
福岡県 中島ため池

下流の小学校への土砂流入



3連の重ね池のうち、上流側の横池と大池が決壊。  
ただし、下流の乙池は土砂流入のみで決壊には至らなかった。



決壊による濁流の流入のため下流の小学校が一時孤立。

被災状況(上流側)

しょうぶさかみ しょうぶさこしも  
広島県 勝負迫上池・勝負迫下池



被災家屋



ため池上部のグラウンドの崩壊による土砂流入により、ため池が決壊。  
ため池下流において、1名死亡、4名負傷。



# 高梁川水系小田川における浸水状況【岡山県】

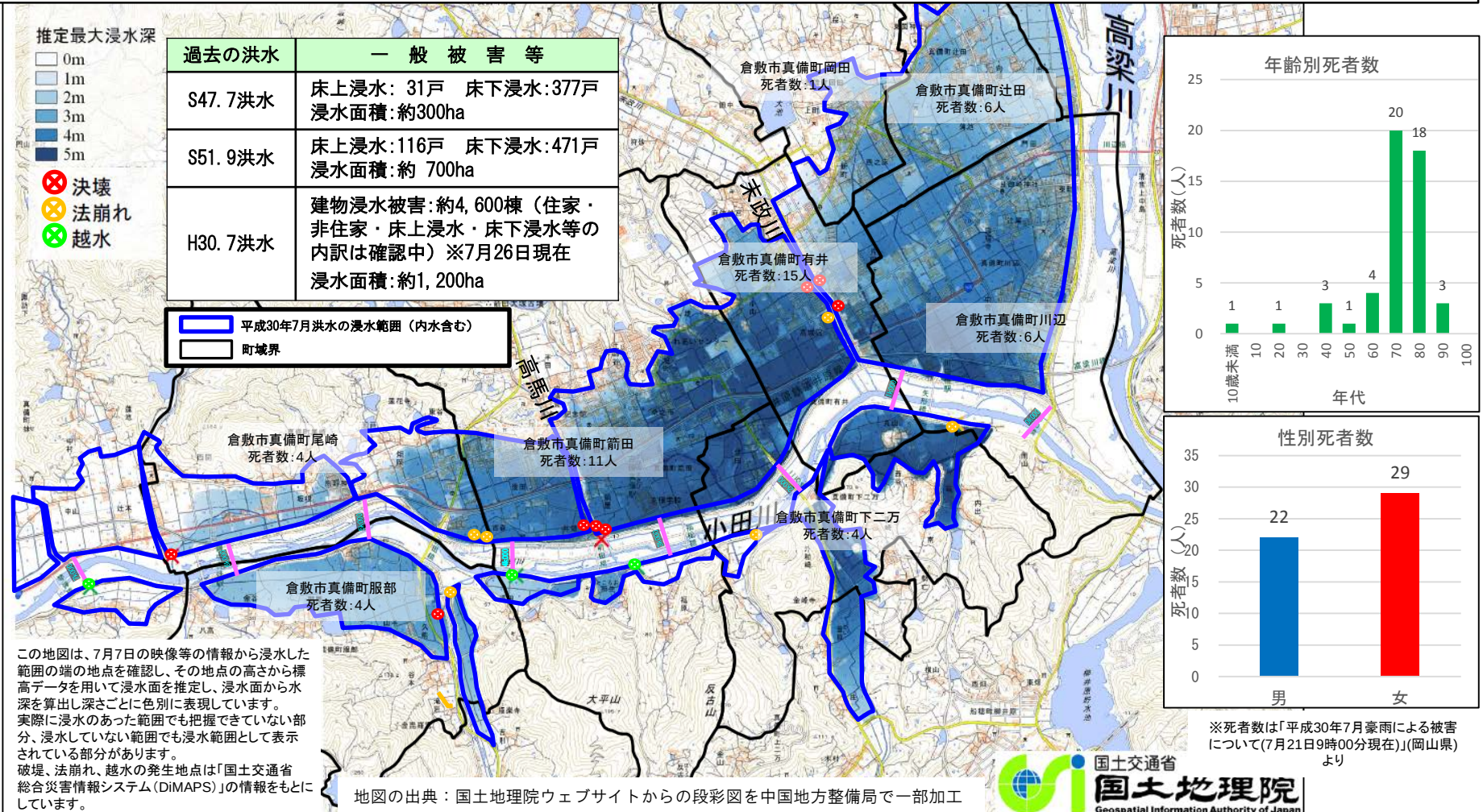
○高梁川水系小田川では倉敷市真備町で堤防が決壊し、大規模な浸水により甚大な被害が発生したほか、堤防の損傷が多数発生した。





# 倉敷市真備町の浸水状況（人的被害）

- 平成30年7月豪雨において市町村別死者数が最大となった倉敷市の死者52人のうち、51人が真備町に在住。
- 特に、末政川と高馬川の間に位置し、浸水深が深い有井地区、やた地区で死者が多く発生。
- 年齢別では、70代以上が約80%と、後期高齢者に著しく集中。
- 空中写真から判読の流出家屋は7箇所のみであり、真備地区での犠牲者のほとんどが、非流出家屋の屋内で遭難の可能性。（平成30年7月豪雨による人的被害等についての調査（速報）：静岡大学防災総合センター教授 牛山素行）





# 平成30年7月豪雨による広島県の土砂災害発生状況

平成30年7月豪雨による  
土砂災害発生件数  
(7月8日までの降雨による)

(広島県報告)

**1,242件**

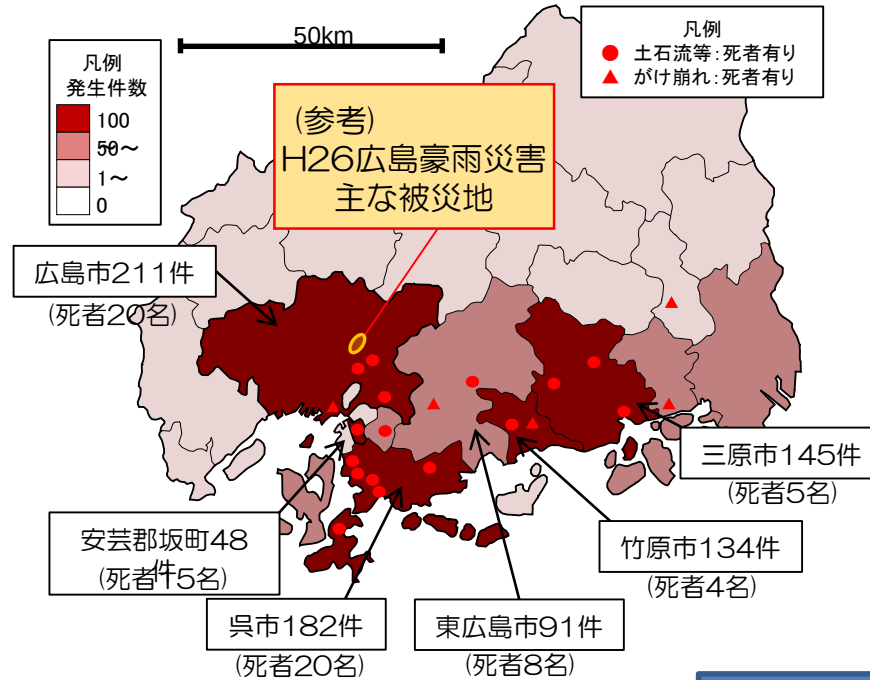
土石流等：609件  
地すべり：1件  
がけ崩れ：632件

【被害状況】

人的被害：死者 87名  
家屋被害：全半壊 411戸

(9月25日時点)

## 広島県内の市町村別土砂災害発生状況



※平成30年7月豪雨調査中のため暫定値



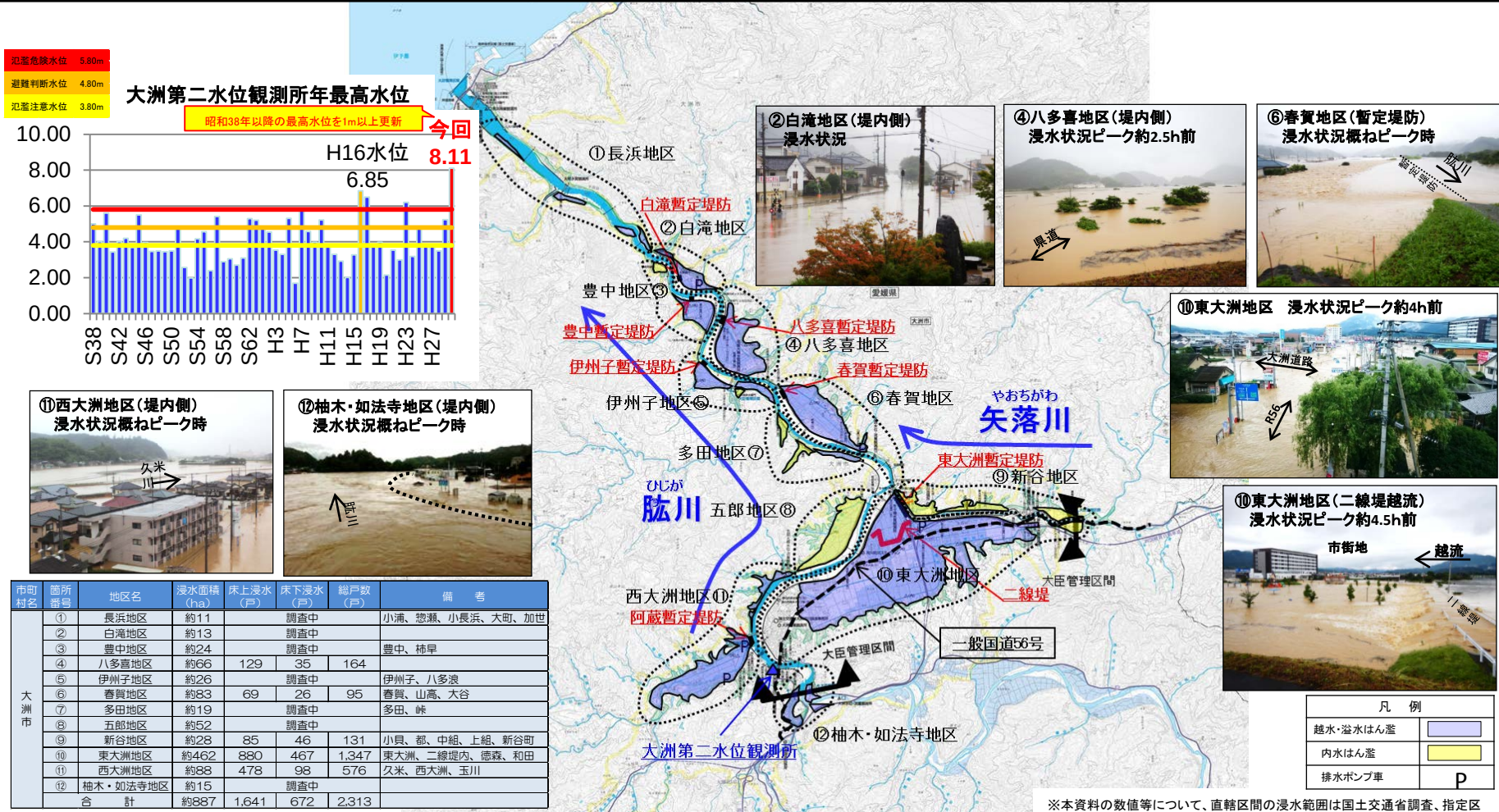
## ライフラインの被災





# 肱川における浸水状況（東大洲地区等）

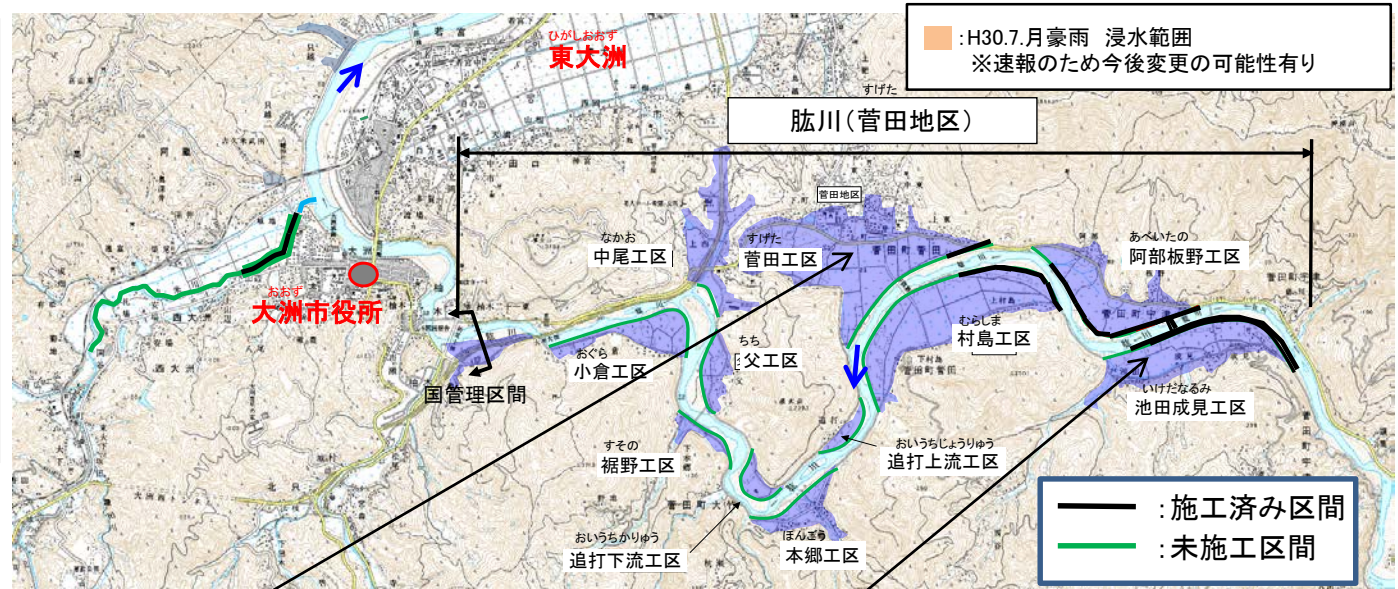
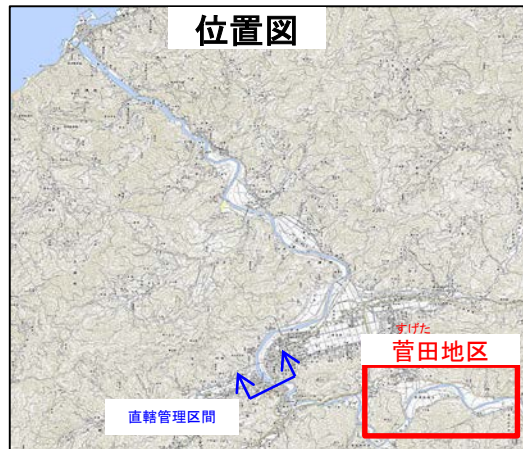
- 平成30年7月豪雨により、大洲市全域で浸水家屋数3,114戸（床上2,296戸、床下818戸）の被害が発生（8月30日19時現在大洲市調べ）。
- 直轄区間においては阿蔵地区をはじめ、全ての暫定堤防箇所で越流。東大洲については、二線堤からも越流し、主要国道56号の冠水や沿道商業施設の浸水など甚大な浸水被害が発生。7月8日午後までに浸水は解消。
- 大洲第二水位観測所の水位は、詳細な水位記録が存在する昭和38年以降で最高水位（8.11m）を記録。





# 肱川における浸水状況（菅田地区）

○ 平成30年7月豪雨では、無堤区間及び霞堤箇所からの溢水により浸水面積約327ha、床上浸水約395戸、床下浸水約66戸の被害が発生（7月7日8時40分頃～15時10分頃まで浸水）。



菅田地区（8日12時頃）



菅田地区（8日12時頃）



# 肱川における浸水状況（西予市野村地区）

- 野村ダム下流の西予市野村町では、昭和49年～平成8年までに県により河川改修事業を実施済。
- 平成30年7月豪雨では、計画を上回る洪水により浸水面積約70ha、床上浸水約570戸、床下浸水約80戸の被害が発生（7月7日6:30頃～10:00頃まで浸水）。

